

岡山県新見市坂本方言の待遇表現

友 定 賢 治

I. はじめに

1. 調査対象地： 岡山県新見市は、岡山市から北西へ80kmほど入った中国山地深くに位置する。坂本は、新見市中心部からさらに8kmほど北上したあたりにひろがる小集落である。小規模の農林業が中心で、戸数90戸、人口は440人ばかりである。山陽・山陰をつなぐ国道180号線が村の中心を通っており、車で、新見市中心部へは15分。岡山市へは2時間弱である。山陰（鳥取県米子市）へもほぼ同時間であるが、買い物などで行くことはない。
2. 調査年月日： 1997年8月14日 午後3時～6時20分
1997年9月20日 午後7時～9時30分
3. 話者： 友定奈良子 大正13年5月23日生（73歳）
4. 調査者・調査場所： 友定賢治、話者宅
5. 調査方法： 統一調査票による質問調査
6. その他： ① 複数回答の使い分けについての説明で、曖昧だったものには最後に（？）の印をつけた。
② アクセントは、棒引きで記す。
③ その他、回答のしかたについての注記を記す。〈考えて〉〈疑いながら〉〈誘導〉など。

II. 調査結果

1. 尊敬表現

1-1 対者敬語

(1) A 「お前は」 「元気かね」 アンター ゲンキナ ン。 / アンター ゲンキナ。 / アンター ゲンキジャー。

B 「あなたは」 「元気かね」 ○○サン ゲンキニ ショーテ。 / ○○サン ゲンキニ ショーテ ン。 / ○○サン ゲンキニ ショーテ カナ。 / ○○サン ゲンキニ ショーテ ンカナ。 / ○○サン ゲンキナ カナ。

C 「あなたは」 「元気かね」 ○○サン ゲンキニ ショーテジャ ナ。 / ○○サン ゲンキニ ショーテナラ ヨロシーガ。 / ○○サン ゲンキニ ショーラレルンデスー。 / ○○サン ゲンキニ ショーラレル ンカナ。

B（年長者）・C（目上の人）のような相手を人称代名詞で呼ぶことはない。

(2) A 「あしたは家に居るか」 アシター イエー。 / アシター イエー オルー。 / アシター イエー オル ン。 〈この3通りの言い方は、この順に、ていねいさをわずかず増す。〉

B 「あしたは家に居るか」 アシター イエー オッテ。 / アシター イエー オッ

テ カナ。《前者よりていねい》

C「あしたは家に居られますか」 アシター イエー オッテジャ ナ。／アシター イエー オッテジャロー カナ。《「ジャロー」の言い方にするるといねいになる》／アシター イエー オラレテ ンカナ。《稀》

(3) A「あした行くか」 アシター イクー。／アシター イク ン。

B「あした行きますか」 アシター イッテ。／アシター イッテ ン。／アシター イッテ カナ。／アシター イッテ ンカナ。《この4通りの言い方は、この順に、ていねいさを増す。》

C「あした行きますか」 アシター イッテジャ ナ。／アシター イッテジャロー カナ。

(4) A「温泉に行かないか」 オンセンエー イカ ン。／オンセンエー イッテ ミン。

B「温泉に行かれませんか」 オンセンエー イッテン ニャー。／オンセンエー イッテン ニャー カナ。

C「温泉に行かれませんか」 オンセンエー イッテジャー ニャーデス ナ。／オンセンエー イッテジャー ニャー カナ。／オンセンエー イッテジャー ニャージャロー カナ。

(5) A「しますか」(近所の年長の人) シテ。／シテ ン。

B「しますか」(土地の目上の人) シテジャ ナ。／シテンジャ ナ。／サレテ カナ。《稀》／サレテ ンカナ。《稀》

(6) A「見ましたか」(近所の年長の人) ミチャッタ ナ。／ミチャッタ カナ。

B「見ましたか」(土地の目上の人) ミテジャッタ ナ。／ミテジャッタ カナ。

(7) A「寝ましたか」(近所の年長の人) ネチャッタ ン。／ネチャッタ ナ。／ネチャッタ カナ。

B「寝ましたか」(土地の目上の人) ネテジャッタ ナ。／ネテジャッタ ンカナ。／ヤスンジャッタ カナ。《稀》

C「寝てください」 ネテ クダサイ。／ネテ クダシャー。／ネテ オクレ。／ネテ ナー。《看護婦さんの年齢などでも違うだろうが、この4通りの言い方は、この順にくだけたものになる。》

(8) A「どこに行っているのか」 ドケー イキョール ン。／ドケー イキョー ン

B「どこに行っていますか」 ドケー イキョーテ ン。／ドケー イキョーテ ンカナ。

C「どこに行っていますか」 ドチリャー イキョーテ ンカナ。／ドチリャー イキョーテンデス カナ。《目上の人には、「ドチラ」となる。》／ドチリャー イキョーラレルンデス カナ。

- (9) A 「どうぞ食べてくれ」 マー タベンシャー。／マー オタペー。／マー オ
タペー ノ。
- B 「どうぞ食べてください」 マー タベテー ノ。
- C 「どうぞ食べてください」 マー タベテ オクレー ノ。／マー タベテ
オクレニャー イケマセン ガ。
- (10) A 「見せてくれないか」 ミセテー。／ミセテー ノ。／ミサシテー。
- B 「見せてくださいませんか」 ミサシテ オクレー。
- C 「見せてくださいませんか」 ミサシテ モラエンジャロー カナー。／ミサ
シテ オクレンデス キャナー。〈古くさい言い方で、ほとんど使わな
い〉

1-2 第三者敬語

- (11) A 「居るだろう」 オルジャロー。／オロー。／オローケード ナー。
- B 「居るだろう」 オッテジャロー。
- C 「おられるでしょう」 オッテジャロー。／オラリョーケード ナー。／オリ
ンサローケード ナー。〈誘導による。自分たちより年上の人達の言い方
であり、今、自分が使うことはないと思う。〉
- (12) A 「居なかった」 オラナンダー ヤ。
- B 「居なかった」 オッテン ナカッター ヤ。
- C 「居なかった」 オッテジャー ナカッター ヤ。／オラレテン ナカッター
ヤ。〈誘導による。稀〉
- (13) A 「そう言った」 ソー ユーチャッタ デ。／ソー ユーチャッタケー ナー。
- B 「そう言った」 ソー ユーテジャッタ ソナ。〈「ソナ」は古くさい感じだ
が、ていねいな言い方。〉／ソー ユーテジャッタケード ナー。
- (14) A 「今そこに行っていた」 イマ ソケー イキョータ。
- B 「今そこに行っておられた」 イマ ソケー イキョーチャッタ。
- C 「今そこに行っておられた」 イマ ソケー イキョーテジャッタ。／イマ
ソケー イキョーラレタ。〈稀〉
- (15) A 「友達が来ている」 キトン デ。／キトンジャー。／キトルンジャ ガ。
- B 「来ている」 キトッテンデス ガ。
- C 「来ている」 キトッテンデス ガ。／キトラレルンデス ガ。〈少〉
- (16) A 「仕事をしている」 ショーテ デ。／ショーテジャ デ。
- B 「仕事をしている」 ショーテジャ デ。／ショーラレテ デ。〈少〉
- (17) A 「見せてもらった」 ミシテ モロータ ンヨ。／ミシテ モロータンジャ。
- B 「見せてもらった」 ミシテ モロータ ンデ。／ミシテ オクレタ ンデ。
- C 「見せてもらった」 ミシテ オクレタ ンデ。／ミシテ オクレテジャッタ

ンデ。《稀》

- (18) A 「見せてくれた」 ミシテ クレタ ンデ。
B 「見せてくれた」 ミシテ クレチャック ンデ。
C 「見せてくれた」 ミシテ オクレタ ンデ。 / ミシテ オクレチャック ンデ。
- (19) A 「私にくださった」 ワタシニ クレチャックンデス ガ。
B 「私にくださった」 ワタシニ クレテジャックンデス ガ。 / ワタシニ オクレタンデス ガ。 《少》
- (20) A 「いただいた」 モロータ ンヨ。 / モロータンジャ。
B 「いただいた」 モロータ ンヨ。 / モロータンジャ。 / イタチャータ ンヨ。 《言うことがあるかもしれない。》

2. 謙讓表現

2-1 謙讓表現

- (21) A 「私も」 ウチモ
B 「私も」 ウチモ / ワタシモ 《少》
C 「私も」 ウチモ / ワタシモ 《少》
- (22) A 「十分に食べました」 エット ヨバレタ ンゾナ。
B 「十分に食べました」 ヨケー ヨバレマシタケー。
- (23) A 「持ちましょう」 モッタゲラー。
B 「持ちましょう」 モッテ アゲマショー。 / モッタゲマショー。
- (24) A 「待たせたね」 マッテ モロータ ナー。 / マタシテ シモータ ナー。
B 「お待たせしました」 マッテ モローテ シモーテ ナー。
C 「お待たせしました」 ヒーサ マッテ モライマシテ ナー。 / ヒーサ マッテ モラウヨーナ コトニ ナッテ シモーテ ナー。
- (25) A 「待っているよ」 マチャールケー。 / マチャール デ。
B 「待っていますよ」 マチャールマスケー ナー。
C 「待っていますよ」 マチャールマスケー ナー。 / マタシテ モラヨーリマスケー ナー。
- (26) A 「言ってくれ」 ユーテーテー。
B 「言ってくれ」 ユーテーテ オクレー。
C 「言ってくれ」 ユーテーテ オクレンデショー カ。 / ユーテーテ モラエ ンデショー カ。
- (27) A 「これをやろう」 コリヨー アゲラー。 / コリヨー アギヨー。
B 「これをあげましょう」 コリヨー アゲマスケー。
C 「これをあげましょう」 コリヨー アゲマスケー。 《あまり言わないかもし

れない) / コリョー モローテ モラエンデショー カ。

2-2 身内敬語

- (28) A 「買ってやった」 コーチャットンジャ。
B 「買ってやった」 コーチャットンデス ガ。
C 「買ってやった」 コーチャットンデス ガ。 / コーチャットンゾナ。
- (29) A 「主人はもう帰っている」 モドットルンデス ガ。
B 「主人はもう帰っています」 モドットルンデス ガ。 / モドットルンデスゾナ。 <古> / モドットリマス デ。

3. 丁寧表現

- (30) A 「行くよ」 イク デ。
B 「行きます」 イキマスケー。
- (31) A 「寒いね」 サミー ナー。
B 「寒いね」 サミーデス ナー。
C 「寒いですね」 サミー コトデス ナー。
- (32) A 「居るよ」 オル デ。
B 「居ます」 オリマスケー。
- (33) A 「よかったねえ」 エカッタ ナー。
B 「よかったですねえ」 エカッタデス ガ。
C 「よかったですねえ」 エカッタデス ガ。 / エー コトデシタ ナー。
- (34) A 「そうか」 ソージャ ガ。 / ソージャ デ。
B 「そうですか」 ソージャ ナー。
C 「そうですか」 ソーデス ガー。 / ソーデスケー ナー。

4. 人間関係に応じた待遇表現

4-1 特定表現の待遇表現

- (35) 「その角を曲がって右に行く」と～ ソノ カドー マガッチャッテ ナー。 ミギ
ー イッテナラ ナー。～
- (36) 「とんでもない」 インヤ ナー。 / ナニュー ヨール ン。

4-2 多人数場面の待遇表現

- (37) 世話役を引き受けるときの言い方 ワタシャー ホントノコトニ ヨー ヤラン
ケード ヤラセテ モラワニャー イケンヨーナケー。 マー モトーラン
コトジャケード ドースコース ヤリマスケー。 <決まった言い方は分
らない。このようなことを言うのだと思う。>
- (38) 「皆さん旅行に参加してほしい」 コンドノ リョコーニャー イッテノ ヒトガ
ドーモ スクニャーヨーナケー ミナサン ナントカ サンカシテ モラ
エリャー オモンジャケード。 <決まった言い方は分からない。このよう

なことを言うのだと思う。)

4-3 位相による待遇表現

(39)「朝の挨拶→どこへ行くのか」

1. お寺の住職さん オハヨーゴザイマス。ドケー イキョーテ ンカナ。
2. 校長先生 オハヨーゴザイマス。ドケー イキョーテンデス カナ。/オハヨーゴザイマス。ドケー イキョーラレルンデス カナ。
3. 見知らぬ年配の男性 オハヨーゴザイマス。ドチリャー イキョーラレルンデス カナ。
4. 見知らぬ年配の女性 オハヨーゴザイマス。ドチリャー イキョーテンデス カナ。
5. 顔見知りの年上の男性 オハヨーゴザイマス。ドケー イキョーテ ンカナ。
6. 顔見知りの年上の女性 オハヨーゴザイマス。ドケー イキョーテ カナ。
7. 10歳ほど年下の見知らぬ男性 オハヨーゴザイマス。ドチリャー イキョーテンデス カナ。/オハヨーゴザイマス。ドチリャー イキョーラレルンデス カナ。
8. 10歳ほど年下の見知らぬ女性 オハヨーゴザイマス。ドチリャー イキョーテ カナ。
9. 同級生の男性 オハヨー。ドケー イキョー ン。/オハヨー。ドケー イキョール ン。/オハヨー。ドケー イキョーテ。
10. 同級生の女性 オハヨー。ドケー イキョー ン。/オハヨー。ドケー イキョール ン。
11. 10歳ほど年下の顔見知りの男性 オハヨー。ドケー イキョール ン。/オハヨー。ドケー イキョー ン。/オハヨー。ドケー イキョーテ。
12. 10歳ほど年下の顔見知りの女性 オハヨー。ドケー イキョール ン。/オハヨー。ドケー イキョー ン。
13. 近所の中学生の男の子 オハヨー。ドケー イキョール。/オハヨー。ドケー イキョール ン。/オハヨー。ドケー イキョー ン。
14. 近所の中学生の女の子 オハヨー。ドケー イキョール。/オハヨー。ドケー イキョール ン。/オハヨー。ドケー イキョー ン。

III. 総括(まとめ)

(1) 今回の調査が、地域社会内での待遇表現であったので、方言敬語の待遇差が、次の表のようにかなり明確に認められた。

	敬 語 形 式
親しい友人	無

同性の年長の人	テ	チャツタ
異性の目上の人	テジャ（頻）	レル・ラレル（稀）

（２）文末詞では、次の表のような対応が認められる。

	常 体	敬 体
説明	デ ガ	ゾナ
問いかけ	ン	カナ

（３）今回の教示者の世代は、「～ンサル」「ゴザンス」といった、ひとつ上の世代では普通だった言い方を、すでに古いものとして意識しており、方言敬語の変容も窺えた。

（４）「イッテジャ ナ」よりは「イッテジャロー カナ」のほうがていねいであるといった、表現法の違いによる待遇法も認められる。

（ともさだ けんじ 広島文教女子大学）